

①令和３年度の取組内容の報告及び令和４年度の活動方針（案）

No.	令和３年度の取組内容			令和４年度の活動方針（案）
	主な課題	対応及び経過	成果及び結果	
1	年長児の就学に向けた放デイ利用申込で、必要な人が利用できる環境が必要（新規）	臨時こども部会を開催し、地域課題が起こる状況やそれらから見える問題点などを確認し、こども部会としてできることの検討を行った。	今後の取り組み方針について、以下のとおり確認した。 ①放課後等デイサービス等の案内手引き及びチラシの作成を行う。 ②放課後等デイサービス利用に関する実態調査を行う。 ③部会の下部組織として障害児通所支援事業所連絡会を置くことを検討する。 ④児童館や児童クラブとの連携、預かりがニーズの子どもを預かる場、放課後等デイサービス利用後の出口の問題について、11月の運営会議で課題提起する。	①について、障がい福祉課が今年度中に案を作成し、来年度の案内手引きとして配布できるよう準備していくため、こども部会としての意見も反映された物となるように状況を確認していく。 ②について、障がい福祉課が実施する予定の事業所等への調査の状況を確認し、来年度の取組を検討していく。 ③について、部会の下部組織を置くことを検討する。 ■部会の下部組織について ・事業所間の悩みや課題も部会の議題として多い。多くの意見を集約した上でこども部会にもってくる必要があるが、現在そのような場がないため、こども部会に紐づいた検討の場が必要である。⇒資料3・4参照 ■手引書の作成を行う ・QRコードをつけ、紙媒体だけでなく、電子媒体でも発信が必要。 ⇒現在、目次を作成中。資料5参照。 ■年長児の就学に向けた放デイ利用について実態調査を行う。 ⇒昨年度、調査を実施できず。今年度、調査を行う。
2	教育と福祉の相互理解が必要（継続）	障がい福祉課として、県特別支援教育センターの主催する「教育と福祉との連携・協働検討会議」及び市学校教育課の主催する「福井市特別支援教育専門委員会」にそれぞれ出席した。また、福井市特別支援教育専門委員会における地区別協議会（市内の特別支援学校や小中学校が地区別で構成される）が10月と1月に開催され、それぞれの会議に障がい福祉に関係する事業所が参加した。	10月の地区別協議会では、委託相談支援事業所等が参加し、福祉と教育の連携に関してグループワークなどによる意見交換等を行ったほか、市内障害児通所支援事業所及び障害児相談支援事業所なども傍聴するなど、約150名が参加した。 1月の地区別協議会では、相談支援事業者連絡会の協力のもと、委託相談支援事業所や市内障害児相談支援事業所が参加し、教育と障がい福祉における連携のあり方等について、グループワーク等により検討を行った。	今後も障がい福祉課が市学校教育課の主催する「福井市特別支援教育専門委員会」に障がい福祉課として参加する中で、年に3回程度開催される地区別協議会において、教育と障がい福祉の連携の場が継続して設定できるようにしていく。こども部会としては、来年度も引き続き経過報告にて取組内容等を把握し、地域課題の終結の可否を見極める。 ■障がい福祉課が特別支援教育専門委員会に出席する。 ・教育と福祉の連携について、医療も含めていく必要がある。 ⇒引き続き、障がい福祉課が特別支援教育専門委員会に参画し、こども部会に経過報告を行う。 ⇒必要に応じて医療も含めた連携を行う。

3	<p>支援学校卒業後も安心して生活できる環境を作るための支援体制を在学生のうちに整えておくことが必要（継続）</p>	<p>令和３年１１月１３日（土）に「輝け！こどもの笑顔！！特別支援学校と放課後等デイサービスの連携」と題して、特別支援学校及び放課後等デイサービス事業所を対象に研修を開催した。</p>	<p>放課後等デイサービス事業所が６事業所参加し、<u>別紙２</u>のアンケート結果のと通りの評価があった。</p> <p>今回の研修等を通しての結論について、以下の２つを確認した。</p> <p>①教育と福祉が卒業後を見据えた支援⇒視点を持って連携していくことができると良い。</p> <p>②出口＝卒業後の受け入れ課題に取り組む必要がある。</p>	<p>①について、卒業までに身に付けておくの良いこと、卒業後にどのような福祉サービスがあるか等を知る機会や顔の見える関係になるための機会づくりを継続していく（学校と放デイ事業所／放デイ事業所と放デイ事業所）。そのためには新たなWGまたは実働する機関が必要である。</p> <p>②について、こども部会では、子どもたちが卒業後も地域で過ごせることを目指し、療育や教育等でできることを考えていく。一方で、地域で過ごすことがどうしても難しいケース（強度行動障害、親亡き後など）をどこが支えるのかということは従来課題であるため、成人対象のショートステイや入所等の受け入れ先は足りているのか？入所している方々は地域に戻っているのか？などの卒業後の受け入れの課題を居宅支援部会、地域移行・地域定着部会に提起していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝</p> <p>■顔の見える関係づくり</p> <p>⇒児童発達支援管理責任者同士の顔の見える場（連絡協議会）を設定する。</p> <p>■卒業の受け入れの課題</p> <p>⇒強度行動障害に関する検討の中で話を行っていく。</p> <p>⇒個別調整会議において課題として挙げてもらい、他の部会とともに協議していく。</p> <p>＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝</p> </div>
---	--	--	---	--